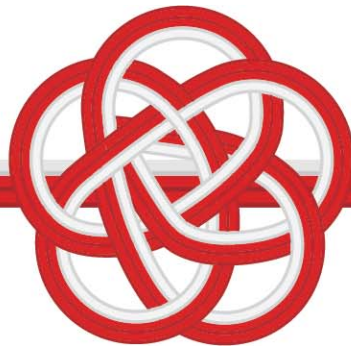


11月1日は 矢板市の誕生日

～矢板市は来年、還暦を迎えます～



昭和33年11月1日、矢板市は、県内11番目の市として誕生しました。
そして、来年には、「市制施行60周年」という節目の年を迎えます。

「60年」は、人で例えると「還暦」。生まれてから干支が一巡し、
再び生まれ年の干支に還る（赤ちゃんに戻る）ことを指します。

干支というと、十二支を思い浮かべてしまいがちですが、
干支は、十二支の「支」と、十干の「干」からなる言葉で、
この組み合わせが60種類あることから、干支が一巡するには60年掛かります。

矢板市にとって縁深い干支は、昭和33年と平成30年の「戊戌」。
戊・戌はともに陰陽五行の「陽の土」で同じ性質を持つことから、
良くも悪くも勢いが増すと言われています。

「還暦」を迎えるにあたって、市制施行当時の初心にかえり、
市民の皆さまにとって、より良い市政の実現を目指し、邁進してまいります。

知ってますか？矢板市のこと。

矢板市のはじまり

昭和30年1月1日、矢板町・泉村・片岡村が新設合併し、新生「矢板市」となりました。当時の市の要件でもある人口3万人を超えていたことから、昭和33年11月1日、「矢板市」として、第1歩を踏み出しました。



市制施行に伴い、祝賀式典や3日間にわたり打上花火、花屋台(左写真)、仮装行列、演芸会など、多彩な祝賀行事が開催され、大変にぎわいました。

市章(昭和33年11月1日制定)



全国から応募のあった684点の中から、市制施行日に制定しました。矢板市の「矢」に、やいたの「い」を圖案化したもので、矢板市の伸張隆昌(勢いよく伸び広がるようす)を力強く表しています。

市の花・木・鳥(昭和52年6月10日制定)



市の花・レンゲツツジ
応募のあった17候補の中から、市全域に分布し、市民になじみ深い「ツツジ」の一種で、さらに「八方ヶ原のレンゲツツジ」が有名であったことから「レンゲツツジ」が選ばれました。



市の木・ナツツバキ
応募のあった27候補の中から、清廉な花、天を先して伸びる姿、悪条件にも強い木であること、また、市内では、庭木として好んで植えられていることから選ばれました。(別名：ヤマツバキ)



市の鳥・キジバト
応募のあった23候補の中から、平和を象徴する「ハト」であり、市内のいたるところに生息し、市街地の植込みによく見られることから選ばれました。(別名：ヤマバト)

本庁舎

矢板市では、当初、「矢板町」庁舎(明治28年築)を利用していました。業務の複雑化にともない増改築を行っていましたが、狭さと老朽化の問題から、新庁舎を建設する運びとなりました。

昭和37年12月に竣工した本庁舎は、日本建築学会賞を受賞したこともある故・佐藤武夫氏による設計で、田園風景にマッチした山村の民家風の外観を取り入れた個性あふれる建築として評価されました。



市民の日(昭和63年11月1日制定)

市民が、郷土について理解と関心を深め、市民としての一体感と自治の意識をはぐくみ、より豊かな郷土を築き上げることを期する日として「市民の日」を定めました。

市民の日推進マスコット・ポッポちゃん



平成3年11月1日、市民の日推進マスコットとして、市の鳥であるキジバトをモチーフに誕生しました。

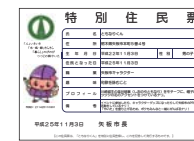
県内では、昭和61年、県民の日のマスコットとして誕生し、その後、県警のマスコットにも任命されたルリちゃんに次ぐ古株です。

矢板市キャラクター・とまなりくん



平成22年11月3日、「とまなりまつり」のマスコットキャラクターとして、川崎城初代城主・塩谷朝業をモチーフに誕生し、平成24年7月には、矢板市のキャラクターに就任しました。

矢板市で「特別住民票(左写真)」を持っているのは、とまなりくんだけ！市民課側出入口付近に展示しています。



ちなみに鳥帽子に付いているのは、桜ではなく、ツツジです。

姉妹都市・茨城県笠間市



昭和55年、初代川崎城主・塩谷朝業公と、初代笠間城主・笠間時朝公が親子であったことに基づき、茨城県笠間市と姉妹都市の盟約が結ばれました。さまざまな機会を通して、交流を深めたり、災害時などの相互協力を結んでいます。

笠間市は、古くから日本三大稲荷に数えられる「笠間稲荷神社」の門前町として、また笠間城の城下町としても栄えてきました。

栗の栽培が盛んで、耕地面積、収穫量ともに全国一の栗の産地であり、最近では「笠間焼」の生産地として知られています。

県民の森

県民に豊かな自然とのふれあいを楽しみたいため、昭和49年に「明治100年」を記念して高原県有林の中に設置されました。

昭和61年には「森林浴の森100選」に選ばれたほか、「とちぎの景勝100選」などにも選ばれています。

長峰公園

北関東有数のツツジの名所として知られ、「つつじの郷・やいた」の象徴的な場所として、市民に親しまれています。

平成元年7月28日、「日本の都市公園100選」に選定されました。

来年は、市制施行60周年！

市制施行60周年の記念事業として、

- 11月1日に記念式典を開催
- 30・50周年記念の時のタイムカプセルを開封
- テレビ番組の公開収録 ●広報やいたの特集などを、検討中です。

広報やいたの特集として、**矢板市とともに人生を歩んでき方方(矢板市と同じ昭和33年11月1日生まれの方)へのインタビュー**を企画しています。お知り合いの方がいらっしゃいましたら、秘書広報課 ☎(43)3764までご連絡ください。

ちよこつと雑学コーナー

～矢板市が誕生した昭和33年にあったことって？～

- インスタントラーメン発売！
8月25日、日清食品から世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」が発売されました。
「チキンラーメン」の登場により、「支那そば」「中華そば」にかわり、「ラーメン」という呼び名が全国的に広まったそうです。
- 1万円札発行！
12月1日、日本初の1万円券(表：聖徳太子、裏：鳳凰)が発行されました。
現在は3代目(平成16年11月1日～、表：福沢諭吉、裏：平等院の鳳凰像)が流通しています。
- 東京タワー完成！
12月23日、東京タワーが当時の世界一の高さ333mの電波塔として完成しました。今は、東京スカイツリーの予備電波塔として位置付けられています。
正式名称は日本電波塔。

昭和63年の市制施行30周年記念「タイムカプセル出発式」のようす

平成20年の市制施行50周年記念「未来に贈るたまたご箱」(市民課側の出入口入り口付近に設置されています)